

山勝染工株式会社

事業者紹介

日本の伝統的工芸品にも指定されている「名古屋黒紋付染（くろもんつきぞめ）」を長年引き継いでいる山勝染工株式会社。江戸時代に始まったといわれる名古屋黒紋付染を、同社は1919（大正8）年の創業以来変わらない技法で職人が守り続けています。

同社では着物染色という伝統に加え「名古屋の染文化を絶やすことなく、未来に伝えること」を使命だと考え、現代のニーズに応じてさまざまな布地の染色などにも挑戦。着物の魅力を再発信しています。また着物の手入れやリメイク、普段着の染め加工に加え、伝統技術を生かした新しいものづくりのアパレルブランド「中村商店」も立ち上げました。

中村商店で扱う商品は、黒紋付染を現代のライフスタイルに合わせたTシャツやバッグ、日傘などのファッションアイテムに取り入れているのが特徴。また長年培ってきた染色技術を生かし、「洋服との新しい付き合い方」として洋服やファッション小物の染め替えサービスを提案。汚れたり色あせたりして着られなくなった洋服のアップサイクルも行っています。

代表取締役社長の中村剛大（たけひろ）さんは地元の小学校などで講演、伝統産業や染め替えの文化について広める活動もしています。



染め替えの作業風景

アップサイクルへの取組のきっかけ

着物（和服）では、染め替え・染み抜き・洗い張りなどは古くから行われており、一着を長く着るのは当然のことで、同社でも着物の染め替えサービスは従来から行っていました。その一方で、洋服は汚れたり色があせたりしたら廃棄が当たり前。そんな常識がある中で、「着物に染め替えがあるなら、洋服で染め替えサービスをやってみてもいいのでは」というアイデアから、洋服や小物の染め替えをスタートさせました。

同社で初めて洋服の染め替えを行ったのは2014年のこと。しかし当時はファストファッション全盛期で洋服の染め替えに興味を示す人はほとんどいなかったといいます。しかしその後、SDGsの考え方が普及し始めると染め替えに賛同する人も増え、少しずつ洋服の染め替えサービ

スの認知度も上がってきたそう。

「洋服の染め替えにより、年間で50万トンともいわれる日本の衣類の廃棄物を少しでも減らせれば」とは社長の中村さん。さらにこの染め替えなどの新たなサービスなどをきっかけにして、伝統工芸や地域の伝統産業、さらには着物文化への関心を高め、文化継承につなげたいと考えています。



シャツ 染色前↑

染色後↑



ジーンズ染色前↑

染色後↑



バッグ

染色前



染色後

販売先について

山勝染工株式会社（中村商店）

名古屋市西区域西 2-6-28

TEL 052-523-1601

カラーリング公式サイト

<https://coloring2014.wordpress.com>